

金沢大学広報誌 | アカンス

Acanthus

No.44
教育号

未来を紡ぐ

— 私と金沢大学 —

02 [特集] 未来を紡ぐ - 私と金沢大学 -
10 最新 17学類NEWS
12 金沢大学の学生支援 キャリアサポート

13 CIRCLE&PROJECT
14 研究室へGO!
15 もっと知りたい! 金沢大学が育むアントレプレナーシップ

未来を紡ぐ

- 私と金沢大学 -

伝統と革新が織り成す金沢に広がるキャンパスを舞台に、未来を見つめ、
一人一人が主体的に学びを深める金沢大学の学生たち。
地域、さらには世界へと目を向け、多彩な可能性を紡ぐ姿と共に、
金沢大学での特色ある学びを紹介します。

INDEX

- P4-5 … 私と学類
- P6 … 私と研究
- P7 … 私と海外留学
- P8 … 私とキャンパスライフ
- P9 … 金沢大学が切り拓く!



私と学類

基礎を固めながら専門を深めることで、次第に広がる可能性。
「学域・学類」での学びで、未来の扉が開かれます。

人間社会学域経済学類

モノづくりを支え、石川県をより元気に



4年 中田 莉彩さん

モノづくりが盛んな石川県に生まれ育ち、幼い頃から工場見学に出掛けていました。企業経営戦略を研究テーマに、ゼミで県内企業の財務分析やヒアリング調査を行った際、財務諸表の数字から企業の経営戦略の成否が読み取れることを実感。大学で学んできたことが、大好きなモノづくりを支えることにつながると気付いた瞬間でした。また、経済学類では財務省北陸財務局による寄附講義をはじめ、専門を深める上で幅広い学びに触れるチャンスがあります。将来は、財務分析や企業経営に関する多角的な視点を生かし、地元企業を盛り立てていく人材になりたいです。

財務省北陸財務局による寄附講義

日本の財政や金融の現状と課題、地域金融行政の取り組み、地域経済の動向などについて理解を深めることを目的に、今年度から新たに開講しました。



人間社会学域地域創造学類

魅力を発信し、文化継承を確かなものに



2年 濱崎 文音さん

私が所属する観光学・文化継承コースでは、伝統や文化資源を生かした観光の在り方を学べます。繊細で奥深い石川県の伝統

工芸品に魅了されて以来、文化継承の課題である後継者不足の解消に少しでも力になりたいと考えています。本コースは、観光学インターンシップなど、地域の暮らしや文化に密着した実習による学びの機会に恵まれています。地域の魅力をその内外に向けて効果的に発信することで地域に根付く人を増やし、文化継承を確かなものにする。この目標に向けて、地域の課題を見いだして解決する力と魅力を引き出す力を高めていきたいです。

観光学インターンシップ

2年次の必修科目として、石川県と富山県の4つの地域に分かれて実施。1週間にわたる現地滞在、事前・事後学習を通じて地域課題に向き合い、地域資源の活用について実践的に学びます。



理工学域フロンティア工学類

製品開発で社会のニーズに応えたい



2年 高津 知里さん

航空機などの構造物や機械が好きでモノづくりに憧れながらも、工学の中での専門分野を決めかねていました。フロンティア工学類では2種類の

プログラムの下でさまざまな工学分野が融合し、先進的なテクノロジーを学びながら、自分の関心や特性を見極めて専門を深めていくことができます。工学の知識や技術が身近な製品に結び付いていると分かるにつれ、異分野の工学を幅広く学ぶことがモノづくりの応用力を高めると考えるようになりました。時代と共に科学技術が進歩する中で、社会のニーズに沿った製品を開発する知識と技術を磨いていきます。

2種類のプログラム

専門基礎を学ぶ「コアプログラム」と「フロンティアプログラム」を組み合わせた学びで、専門性を構築するとともに、異分野の融合により従来の工学分野の枠を超えた未踏領域(フロンティア)を開拓する素養を修得します。

コアプログラム	フロンティアプログラム
<ul style="list-style-type: none"> 電子機械 機械 化学工学 電子情報 	<ul style="list-style-type: none"> 知能ロボティクス バイオメカトロニクス マテリアルデザイン 計測制御システムデザイン ヒューマン・エコシステム ナノセンシング
2年次後期	3年次前期 3年次後期

理工学域生命理工学類

生命現象のことにわりに向き合いたい



2年 坂井 孝嘉さん

微生物や細胞の形・動きなど、顕微鏡を通して自分の目で見た時の感動が忘れられず、分子・細胞レベルから生態系レベルまで生

命現象に潜む神秘を探究したいと思っています。生命理工学類での学びは生物学や化学、地理学などさまざまな学問が密につながり、複眼的な視点が求められます。また、理工学域能登海洋水産センターや環日本海域環境研究センター臨海実験施設での実習もあり、研究成果と結び付け学ぶことができることも知的好奇心をくすぐります。今後、講義と実習・実験の両面で理解を深め、多様な生命現象を考察できる力を身に付けていきたいです。

理工学域能登海洋水産センター

今年度、能登半島の九十九湾沿岸に、滞在型教育研究環境を備え、海洋生物資源の基礎および応用研究を行う拠点として誕生しました。生命理工学類の実習などにも活用されます。



医薬保健学域創薬科学類

薬学の力で多くの人を救う研究者に



2年 小林 廉さん

アレルギー治療で幼少期から服薬を続けているため、漢方薬を含むさまざまなくすりの作用メカニズムを

解明したいと思い、研究者の道を志しました。アドミッション・オフィス(AO)入試で入学すると、ラボローテーションによる研究体験が早くから始まり、これまでに薬物代謝やDNAに関する実験、有機化合物の構造解析などを行う中で研究の楽しさを実感しています。また、先生方の研究姿勢に触れ、将来の研究者像を描きながら時間をかけて研究者の土台を築いていけることも魅力です。現代の科学が届いていない病に苦しむ人々を救う創薬研究者を目指します。

ラボローテーション

専門分野が異なる複数の研究室を順番にローテーションして、研究の最前線を体験します。創薬科学類では3年次後期から科目を設けていますが、AO入試入学者は1年次後期から始まります。



Pick up!

金沢大学の学びの特徴

学域学類制

学部・学科の垣根を越え、幅広く柔軟な学びを可能とします。3学域17学類の下、基礎を学びながら、自身の専門を深く主体的に学んでいくことができます。

学域	学類
人間社会学域	<ul style="list-style-type: none"> 人文学類 法学類 経済学類 学校教育学類 地域創造学類 国際学類
理工学域	<ul style="list-style-type: none"> 数物科学類 物質化学類 機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類 地球社会基盤学類 生命理工学類
医薬保健学域	<ul style="list-style-type: none"> 医学類(6年制) 薬学類(6年制) 創薬科学類 保健学類

グローバル人材の育成

本学は、グローバル社会で活躍する「金沢大学ブランド」人材を育成するため、英語による授業やアクティブ・ラーニングを展開しています。学生は、社会で求められる生きた英語力や、自ら考え伝える主体性を自然と身に付けることができます。



英語による授業の様子



アクティブ・ラーニングの様子

私と研究

各々の専門分野で研究に励む大学院生。
一つ一つの研究成果が、社会の発展や課題解決につながっています。

生活文化を映す「民具」と人々をつなぐ研究者に



文化資源学

フィリピンで民具を使った脱穀を体験

私は、石川県能登地方とフィリピン・イフガオ州をフィールドに、昔ながらの農具や食器などの生活用品「民具」に関する研究を行っています。昔から農業が盛んで、世界農業遺産にも認定されている両地域にはさまざまな民具が存在し、独自の生活文化を形成しています。しかし、民具は納屋や倉庫にしまい込まれており、たとえ資料館などに収集・保存されていても活用されていない場合がほとんどです。そこで私は、両地域において住民への聞き取り調査などを実施。人々の生活に密着した民具から、文化形成の過程や社会的背景、民具をめぐる人々の関係性を探りました。将来的には、民具の種類や用途、来歴などをまとめたオンラインデータベースを作成し、民具に魅力を見いだす人々と引き合わせることで、民具が多様な価値を持つ文化資源として利活用されるようにしたいです。

大学院人間社会環境研究科人間社会環境学専攻
博士後期課程3年 川邊 咲子さん



より高度なナノスケール計測技術の実現に向けて



ナノ計測学

原子・分子といったナノスケールで、観察対象となる物質の表面構造や性質を直接計測できる「原子間力顕微鏡 (AFM)」のこのナノ計測分野で高い研究実績を有する金沢大学で、私はAFM技術を基盤に、液中で電位分布を計測できる技術の開発に取り組んでいます。光エネルギーにより化学反応を促進して浄化・殺菌などの効果を生むことから、近年、環境・エネルギー材料として注目されている「光触媒」。現状では、その構造や性質をナノスケールで解析することは困難であり、光触媒の飛躍的な性能向上を図る上で大きな課題となっています。その解決に向け、光触媒の電位分布の変化を捉えて可視化する計測技術を開発中です。共同研究先の大学や民間企業と連携し、さまざまな知見や社会のニーズを踏まえながら、技術の高度化を目指して試行錯誤を重ねています。

大学院自然科学研究科電子情報科学専攻
博士後期課程2年 平田 海斗さん



新たな予防法・治療法の開発につながる基礎研究を



代謝生理学

学士課程では看護学を専攻しており、糖尿病患者さんの中には自覚症状が少ないために、時間的・心理的負担を理由に治療を諦めてしまう方がいることを知りました。人体のメカニズムを明らかにし、それに基づく予防法・治療法を確立できれば、患者さんの負担が少ない効果的かつ良質な医療の提供につながるかと考え、研究者の道に進むことを決意しました。肝臓は、全身のさまざまな臓器と相互作用を保ちながら、身体の健康維持に重要な役割を果たす臓器です。現在私は、肝臓の糖代謝調節について、肝臓と脳、腎臓、副交感神経の連関に着目した研究に取り組み、その相互作用メカニズムの解明を目指しています。将来は、医学研究者として、糖尿病をはじめとする生活習慣病の新たな予防法・治療法の開発につながる基礎研究に取り組み、人々の健康増進に貢献したいです。

大学院医薬保健学総合研究科医科学専攻
修士課程2年 橋内 咲実さん



私と海外留学

本学ではさまざまな海外留学プログラムを用意しています。
自分を成長させるきっかけに、世界へ飛び出してみませんか？

海外留学ファーストステッププログラム

人間社会学域地域創造学類2年
國領 真央さん



【留学先】 プリンストン大学 (タイ)

私の留学先は、観光地として有名なタイのプーケット島。2週間の留学生生活をサポートしてくれたPSUの学生とは、授業以外でも毎日英語で交流していたため、英語の実践力が身に付いたと感じています。また、休日には観光スポットやタイ料理の屋台などを巡り、現地の多くの文化に触れることができました。この経験が、帰国後の観光学の学びに生かされています。



仲良くなった学生と現地の水族館で

海外インターンシップ

人間社会学域人文学類3年
浅田 詩織さん



【留学先】 ユニバーサル・イングリッシュ・カレッジ、JAMS.TV (オーストラリア)

語学学校での英語学習と日系企業での就業体験を組み合わせたプログラムに参加。語学学校はレベル別に分かれ、自分の英語力に合った学習ができました。就業体験では、現地の人々向けに日本の鍋料理を紹介するウェブページの記事制作を担当。ライターの仕事に興味があったため、実際の編集現場で働くことができ、実りある経験になりました。



多くの友人と共に学んだ語学学校

派遣留学

人間社会学域国際学類4年
毛利 祐也さん



【留学先】 シェフィールド大学 (英国)

国際関係学発祥の地で自分の専門をさらに深めたいと考え、10カ月間の長期留学に挑みました。授業の予習で課される膨大な文献の読み込みなどに苦労しましたが、幾度ものハードルを乗り越えたことが自信になっています。また、「EU離脱が日英外交に与える影響」をテーマに、国際情勢が揺れる現地で議論を重ねられたことは、今の自分の糧になっています。



休日は気の合う仲間と街を散歩

研究留学

大学院自然科学研究科物質化学専攻
博士前期課程2年 福田 菜佑さん



【留学先】 サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学 (スペイン)

私はらせん構造を持つ高分子を合成し、さまざまな機能を見いだす研究を行っています。今回の留学では、共同研究先の大学に3カ月間滞在。現地では研究について議論する機会が多く、臆さずに自分の意見を伝える大切さを実感しました。また、学術論文が受理され、留学中からの研究が実を結んでいます。博士後期課程に進学し、研究をより深めていきたいです。



研究メンバーとの食事会



現在海外留学中の学生にインタビュー！

医薬保健学域薬学類・創薬科学類3年 露口 啓太さん [留学先] ラトガース大学、ファイザー社(製薬会社)(米国)



Q. 今回の留学を決めた理由は？

医療費の国家負担抑制や持続的な社会保障システムの構築に貢献したいと考えており、人工知能 (AI) やビッグデータを活用した新しい医療分野「健康情報学」に関心があります。この分野の最先端に行く米国で、研究とビジネスの双方の観点から学びたいと考え、留学を決意しました。

Q. 留学先ではどのような活動を行っていますか？

医学や統計学、コンピューターサイエンスの専門家と共に、主にAIを用いた医療ビッグデータ解析をテーマとして、医師診断支援システムなどを研究開発しています。

Q. 留学して良かったことは？

多様なバックグラウンドを持つ人々が暮らす米国で、日本文化や自分の考えを客観視できることです。日々新たな考え方が生まれることを楽しんでいます。

私とキャンパスライフ

さまざまな学びや出会いが広がる大学生活。充実した学内施設を利用することで、キャンパスライフが自分らしく彩られます。

共同生活で国際交流

学生留学生宿舍「先魁」「北溟」

日本人学生と外国人留学生が1つのユニットで共に生活するシェアハウスタイプの学生宿舍。キャンパス内にいながら異文化交流を深められ、国際感覚が身に付きます。



先魁



人間社会学域国際学類4年
中島 綾香さん

私は、日本・日本語教育コースに所属しており、将来は日本語教師を目指しています。昨年9月から入居している先魁では、外国人留学生の生活をサポートするレジデントアドバイザーとして、日常生活に加え、在留カードや保険・年金手続きなどを手助けしています。外国人留学生が日本で生活する上で感じる悩みや疑問に対して分かりやすく伝える努力を重ねることで、私自身も日本語や日本文化への理解が深まったと実感しています。先魁での経験を生かし、日本語を外国語として学ぶ人々に寄り添う日本語教師として、世界を舞台に活躍したいです。

北溟



人間社会学域経済学類2年
足立 椋さん

高校時代の数カ国への短期海外留学で異文化交流の楽しさを実感し、大学では長期的に外国人留学生と交流を深めたいと思い、入学と同時に北溟に入居しました。外国人留学生と共に生活していると、地理や宗教などを背景とした多様な食文化をはじめ、文化の違いを肌で感じます。母国の料理を作り合っ一緒に食事をするなど、コミュニケーションを図ることで、互いをより理解し、尊重し合うことを大切にしています。北溟で得られた仲間との輪を軸に、日本人学生と外国人留学生が集うさまざまな交流の場を企画していきたいです。

学生の自学自習をサポート 附属図書館

附属図書館は、歴史的資料から新刊本までの数多くの蔵書を取りそろえ、学びや憩いの空間も備えています。

3つの図書館



角間キャンパスの中央図書館と自然科学系図書館、宝町キャンパスの医学図書館の3館体制で、合計蔵書数は約191万冊に上ります。図書や電子資料など多様な学術情報資源を有し、学生の自学自習や研究を支える快適な環境を提供しています。

ラーニング・commons



図書館資料やパソコンなどを活用したグループ学習や活発な議論を伴う学習が可能な空間です。「オープンスタジオ」「国際交流スタジオ」「グループスタジオ」「ブックラウンジ」などを目的に応じて使い分け、主体的な学びを深めることができます。

ほんわかふえ。



中央図書館ブックラウンジに併設されているカフェ。「本」「ほんわか」「和」を掛けた店名の通り、コーヒーや軽食を取りながら勉強や読書ができ、ほっと心が和む空間となっています。令和元年5月から電子決済サービスを導入し、利便性が高まりました。

金沢大学が切り拓く!

本学は、「金沢大学<グローバル>スタンダード」(KUGS)の理念に基づく入試改革と、学問分野を融合した新たな学域・学類の創設により、社会の大変革期において活躍できる人材を育成します。



KUGSとは

本学が育成する人材の具体的な姿を5つの基準で表したものです。グローバル化が進む国際社会において、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていくために必要な能力・体力・人間力を備えた人材の育成を目指しています。

- 1 自己の立ち位置を知る
- 2 自己を知り、自己を鍛える
- 3 考え・価値観を表現する
- 4 世界とつながる
- 5 未来の課題に取り組む



入試改革で切り拓く!

令和3年度入学選抜から、多様な学生を幅広く受け入れるため、後期日程試験を廃止し、KUGSの理念に特化した入試を新たに導入します。



直撃インタビュー! 入試改革について聞きました

岩見 雅史 学長補佐(入試・入試改革・基幹教育担当)

Q- なぜ新たな入試を導入するのでしょうか?

KUGSの理念に合致する多様な学生がより多く入学できるように、新たに「KUGS特別入試」および「超然特別入試」を導入します。

Q- これまでの入試との違いは何ですか?

本学が実施する「KUGS高大接続プログラム」や「金沢大学コンテスト」において、所定の要件を満たすことで出願資格が付与されます。本プログラムで探究的な学びを深める、あるいは本コンテストで個々の才能を発揮するなど、社会をけん引する人材となるために必要な素養を育むことを、高校生の段階から強く後押しします。

Q- この入試改革で金沢大学はどう変わりますか?

多様なバックグラウンドや能力を持った学生が集まり切磋琢磨することで、困難な課題を解決に導くことができる人材が育つと考えます。将来、多くの本学学生が、さまざまな分野のリーダーとして活躍することを期待しています。

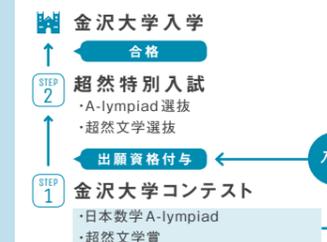
New! KUGS特別入試

KUGS高大接続プログラムを通じて、本学での学びに必要な能力・資質を評価!



New! 超然特別入試

卓越した才能を持ち、その才能を生かして社会的課題に取り組む意欲を評価!



新学域・学類で切り拓く!



大きく変わろうとしているこれからの社会では、学問分野を問わず幅広い知見を備えた「社会変革を先導する中核的リーダー」となる人材が不可欠です。本学では、こうした人材の育成を目指し、令和3年度に新しい学域・学類の設置を構想しています。文系・理系の枠を超え、日本人学生だけでなく、外国人留学生や企業で活躍する社会人学生などの多様な学生が互いに高め合う環境の下、最先端の知見を取り入れ、社会のニーズを踏まえた文理融合教育を実践します。

人文学類

人文学類シンポジウム「今こそ基礎心理学」を開催

3月6日、認知科学研究グループが主催するシンポジウム「今こそ基礎心理学:視覚を中心とした情報処理研究の最前線」を開催しました。同志社大学の竹島康博助教、東北大学の齋藤五太助教による講演のほか、学内外の認知科学研究者や学生が集い、ヒトが情報を取り込む仕組みについてさまざまな議論を交わしました。



法学類

エジンバラ大学で法律英語研修を実施

2月下旬から3週間、英国のエジンバラ大学で第3回法律英語研修を実施しました。同研修では、英国法の基礎や司法制度について学ぶとともに、学生による著名判例の紹介なども行いました。今回は法学類生10名に加え、関西学院大学の大学院生2名が新たに参加するなど、これまでよりも一層充実した研修となりました。



英国の著名判例の解説に向けて検討を進める学生ら

数物科学類

最先端の数学理論に関する特別講義を実施

4月17日と18日に、オランダのアイントホーフェン工科大学のマーク・ペレティエ教授による特別講義「勾配流理論入門」を行いました。参加学生は、線形空間とは限らない距離空間において微分を考察する最先端の数学理論に刺激を受けていました。ペレティエ教授は、今年度、リサーチプロフェッサー(招へい型)※として本学の研究にも携わります。



ペレティエ教授による特別講義

物質化学類

化学に関する日露国際シンポジウムを開催

2月27日と28日、大学院自然科学研究科物質化学専攻は、ロシアのカザン連邦大学(KFU)化学専攻と共に、ジョイントシンポジウムを開催しました。両大学からそれぞれ5名の研究者が有機化学や高分子化学、生化学などに関する研究について発表。続いて、双方の学生合わせて13名によるポスターセッションが行われ、活発な議論を交わしました。



角間キャンパス「科学の丘」にある日露友好の木の前に記念撮影するKFU参加者ら

経済学類

財務省北陸財務局による寄附講義を開講

経済学類では、今年度4月から7月にわたり、財務省北陸財務局による寄附講義を開講しています。講義は岡本薫明財務事務次官や西田直樹北陸財務局長など、財務行政に携わる方々によるオムニバス形式で展開。大教室を埋め尽くす受講学生は、実際の事例が盛り込まれた講義を通じ、財政や金融行政、地域経済への理解を深めています。



西田北陸財務局長による講義の様子

学校教育学類

宿泊野外活動が新たにスタート

今年度から新授業科目「宿泊野外活動」がスタート。子どもを対象とした体験活動に学生自ら参加することで、子どもの発達段階に応じた活動の在り方を学ぶとともに、学校現場で行われている野外体験活動の指導に必要な知識や技術を身に付けます。今回は金沢市のキゴ山ふれあい研修センターを中心に、登山や野外炊飯、天体観測などを行いました。



地域創造学類

新コース「観光学・文化継承コース」の第1期生が誕生!

平成30年度に設置された「観光学・文化継承コース」に、第1期生となる新2年生16名が配属されました。男子2名、女子14名のフレッシュな学生たちは今年度、専門の講義・演習に加え「観光学インターンシップ」に参加します。石川県の小松市・能登島町・能登町や富山県南砺市の五箇山といった、観光資源が豊富な地域で実践的な学びを深めます。



医学類

高い志を胸に、金沢から世界へ

3月22日、106名の学生が医学類を卒業しました。第113回医師国家試験の合格率は既卒者を含め95.5%(全国平均89.0%)と、国立大学で第3位になりました。卒業生は4月から臨床研修を開始し、医師としての第一歩を踏み出しています。医学類での学びを糧に、金沢から世界へと羽ばたき、活躍の場を広げていくことを期待しています。



医学類学位記伝達式で学位記を受け取る卒業生

薬学類

第104回薬剤師国家試験合格率全国第2位

第104回薬剤師国家試験の合格発表が3月25日にあり、本学の合格率は全国73大学の中で第2位となりました。平均合格率が70.9%に対して、本学は95.2%と例年同様に高い合格率を維持。基礎学力・問題解決能力を養う教育カリキュラムや附属病院・市中薬局での充実した実習の成果が表れました。これからも志高く優秀な人材を育成します。



注射薬の混合調製実習

薬学類・創薬科学類

薬学系企業等説明会を開催

3月9日に薬学類・創薬科学類の学生を対象とした企業説明会を開催しました。会場には計68社の企業説明ブースが設置され、多くの学生が企業担当者の説明に熱心に耳を傾けていました。学生のキャリア教育の一助として、また企業の第一線で活躍する方々の体験談を直接聞く機会として、今後も企業説明会を継続していきます。



熱心に説明を聞く学生ら

保健学類

多職種連携教育を初めて実施

保健学類では、看護学専攻と医学類による多職種連携教育を初めて実施しました。多職種連携を担う人材の育成を目的として、今回は地域アセスメント技術演習に導入。専門を超えた活発な議論が展開されました。本演習に対する学生の理解度は例年以上に深まっており、今後の学習効果が期待されます。



地域アセスメント技術演習の様子

最新

17学類 NEWS

金沢大学3学域17学類から最新のとれたて「旬」な情報が届きました! イベントや近況,注目の研究などバラエティに富んだ金沢大学の現在を身近に感じてください。

- 人間社会学域
- 理工学域
- 医薬保健学域

フロンティア工学類

近未来車室空間の快適性に関する産学連携プロジェクトを実施中

本学とトヨタ紡織株式会社は、産学連携の包括的推進に関する協定を締結し、近未来の自動運転自動車に求められる「車室空間の快適性」を創造するための共同研究を実施しています。フロンティア工学類からも複数の研究室が本プロジェクトに参画しており、シートや空間の快適性に関するテーマについて研究を行っています。



近未来車室空間の「快適性」

地球社会基盤学類

深海を掘削して地球環境の歴史を解読

地球環境進化学研究室は、国際深海科学掘削計画に参加しています。これは、科学掘削専用の船を用いて地球や生命の謎の解明に挑戦する多国間科学研究協力プロジェクトであり、オーストラリア南部沖の第369次科学掘削航海には長谷川卓教授が乗船しました。以来、気候変動に敏感な高緯度域における過去の環境変動を探る研究を推進しています。



長谷川教授が乗船した深海掘削船ジョイデス・レゾリューション号

電子情報通信学類

振動発電を用いた遠隔監視システムで地域イノベーションを創出

文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」の下、振動発電研究室の上野敏幸准教授が開発した「磁歪式振動発電」に基づく事業を石川県と共同で展開しています。地方創生につながるよう、振動発電デバイスを核に動作する無線通信センサーを用いて、工場設備の稼働状況や橋梁の腐食状況を遠隔監視する技術の事業化を目指します。

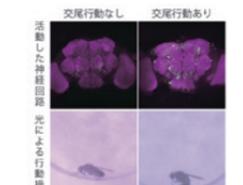


無線通信センサーと振動発電デバイス

生命理工学類

昆虫の生得的行動を生み出す神経回路の新しい解析技術を確認

昆虫の多様な生得的行動を生み出す神経回路の働きは不明な点が多く残されています。昆虫分子生物学研究室では、モデル昆虫のショウジョウバエを用いて、行動に伴い神経活動が起きた細胞を特異的に可視化し、さらにその神経細胞を光によって活性化させる新しい技術を確認。今後、さまざまな昆虫の生得的行動の解明につながることを期待されます。



脳の神経回路を可視化した写真(上)と光活性化による交尾行動の再現(下)

保健学類

多職種連携教育を初めて実施

保健学類では、看護学専攻と医学類による多職種連携教育を初めて実施しました。多職種連携を担う人材の育成を目的として、今回は地域アセスメント技術演習に導入。専門を超えた活発な議論が展開されました。本演習に対する学生の理解度は例年以上に深まっており、今後の学習効果が期待されます。



地域アセスメント技術演習の様子

キャリアサポート

金沢大学就職支援室は、学生の就職活動を支援するさまざまな取り組みを行っています。

学生のニーズに応える就職支援

就職支援室は、さまざまなプログラムや個別指導により、学生一人一人の思いや考えに沿って就職活動をサポートしています。

就職支援プログラム

就職支援室では、独自の就職支援プログラムを多数開催しています。学年別の進路ガイダンスや志望先別のガイダンス・面接練習会などを実施することで、学生の就職活動への意識を高めるとともに、自身のキャリア形成について考える機会を提供しています。



社会人との交流の場を提供

さまざまな業種で働く社会人と交流できるよう、OB・OG交流会をはじめ、全国に広がる本学卒業生とのネットワークを生かしたイベントを開催。学生が自身の将来像を具体的に描き、自律的・主体的な就職活動および進路選択に取り組むための土台づくりを後押しします。



充実した個別相談

専門のキャリアカウンセラーおよび企業人事経験者が、面接練習やエントリーシートの添削に応じます。学生一人一人に合った的確なアドバイスを行い、平成30年度には延べ3,277件の相談に対応。また、オンライン通話サービスなどを活用し、遠隔地からの相談も受け付けています。



卒業生の声

社会に羽ばたき活躍する卒業生に、就職活動の経験について聞きました。

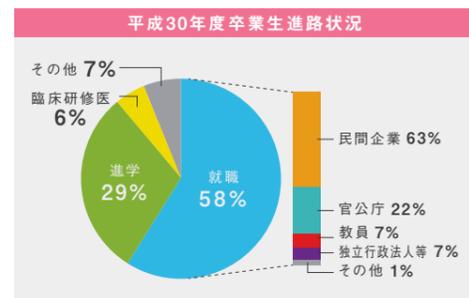


仕事内容や業界の雰囲気、自分の適性を把握した上で就職活動に臨みたいと思い、3年生の夏から数社のインターンシップに参加しました。実際の業務体験や社員の方との交流を通じて、就職活動において大切にしたい価値観を再確認。就職活動時は、就職支援室が実施する学内合同説明会などに積極的に参加し、幅広い業種・職種について理解を深め、視野を広げました。企業研究を重ねたからこそ、電力業界の魅力を実感し、納得のいく就職ができたと考えています。現在、私は動画配信による社内報制作を担当しており、社員同士がコミュニケーションを深められる情報を発信することが目標です。

林 健太郎さん（平成29年度人間社会学域経済学類卒業、平成30年4月北陸電力株式会社入社）

金沢大学進路データ

本学卒業生の進路状況・各種試験合格実績を紹介します。



平成30年度各種試験合格実績（既卒・修了者を含む）

試験種別	合格者数	国立大学での順位
公務員試験	246人	5位
国家試験	113人	3位
地方公務員	246人	2位
国家公務員	16人	5位
第113回医師国家試験	95.5%	3位
第104回薬剤師国家試験	95.2%	2位
第108回看護師国家試験	98.7%	2位

石川県庁：31人 富山県庁：14人
福井県庁：13人 金沢市役所：37人

CIRCLE&PROJECT

金沢大学で活動するサークルやプロジェクトをピックアップして紹介します。

CIRCLE 硬式野球部

1部リーグへの昇格を決め 新グラウンドでの練習に熱

昨年角間キャンパスに新たに整備された多目的グラウンドは、水はけが良く、野球に適した黒土が敷かれて試合球場と同様の環境になりました。ここで活動しているのが、昭和24年からの伝統を誇る硬式野球部です。マネージャー、トレーナーを含む部員33名は、平日は日没まで守備やバッティング練習に励み、週末は試合形式で連携プレーを強化しています。長谷川竜也さん（法学類4年）は「団体競技でありながら、投手と打者が一対一で勝負できることが野球の魅力」と笑顔で語ります。

監督とコーチに指導を受けながら行う全体練習では、全員で声を出し合い、グラウンドに活気が溢れます。「部員それぞれが各自の課題と主体的に向き合い、素振りや筋力トレーニングなどの個人練習にも取り組んでいます」と語るのは、愛宕竜生さん（学校教育学類4年）。硬式野球部は北陸大学野球連盟1部リーグへの来季復帰を決め、今勢いに乗っています。質の高い練習を積み重ねることで勝利への道筋を確かなものに、全国大会出場を目指して、部員らは今日も懸命に白球を追いかけます。



多目的グラウンドでの練習風景



CIRCLE 囲碁部

部員全員の棋力向上が 団体戦勝利の布石に

囲碁部は、平成30年12月に日本棋院本院で行われた第62回全日本大学囲碁選手権に北信越地区代表として6年連続24回目の出場を果たし、第6位の成績を収めました。この囲碁選手権は、5名が同時に対局するリーグ戦形式の団体戦で、対局結果の総合成績で勝敗が決まるため、個人の強さだけでは勝つことができません。普段の練習では対局後に一手一手を振り返り、部員同士で最善の手を検討。勝負強い先輩からの助言が、部全体の棋力を底上げします。「対局を重ねて大局観を磨き、数手先

で枝分かれした手を読んで次の一手を決めます」と語るのは、部長の山田翔世さん（数物科学類2年）。日常生活でも考える習慣が身に付くといいます。前部長の村井陽さん（地域創造学類3年）は「相手の手を読めた時の面白さは格別。碁盤を挟んで他大学の学生や社会人と交流できるのも魅力です」と笑顔を見せます。今後も北信越地区予選は必ず勝ち抜き、全日本大学囲碁選手権で優勝することが囲碁部の目標。囲碁を通じた交流の輪を広げながら、部員全員でさらなる高みを目指します。



集中力を研ぎ澄まし次の一手を探る

Go to the laboratory

研究室へGO!

金沢大学には400を超える研究室があり、教員・学生は日々研究に励んでいます。一口に研究室と言っても、その特徴はさまざま。教員や学生に研究内容や研究室の雰囲気などの話を伺い、その魅力を伝えます。

国際関係論研究室 [国際学類]

どんな研究をしていますか?

国・地域間の紛争や緊張関係といった国際秩序に関する諸問題について、政治学・社会学の概念や理論を基に複眼的に分析しています。例えば、ポピュリズムやナショナリズムなどの抽象的概念や日本の安全保障をめぐる東アジア情勢に関わる具体的な政治事象を取り上げて考察を深めます。



専門：国際関係理論, 国際政治学

[教員] 中野 涼子 准教授

この研究室の特徴を教えてください!

グローバル化の進展で多極化する国際社会を研究対象とする上で、日本と海外では同じ用語や事象であっても、定義や学術的捉え方が異なることがあります。そのため、日本語文献と海外文献の両方から、各国・地域の政治・経済・社会的背景を理解した上で分析することに重点を置いています。

学生に聞きました! この研究室の魅力は?

自分では思い付かない考え方や視点に触られることです。ゼミで行う英語ディベートでは、いくつかの論題について説得力のある理論を組み立てて臨み、肯定・否定双方の立場から意見を戦わせます。その中で、客観的かつ多角的な視点から新たな考え方を生み出した時に充実感を覚えます。



文献読解の要点を伝える中野准教授



ディベートに向けて理論を構築

生物機能・化学反応工学研究室 [生命理工学類]

どんな研究をしていますか?

再生可能な生物由来資源であるバイオマスを利用し、石油資源に代わる革新的なエネルギーや化学製品の開発に取り組んでいます。化学と生物学の手法を複合的に駆使してバイオエタノールやバイオプラスチックなどを効率良く作り出す技術を確立し、持続可能な社会の構築に貢献します。



専門：バイオリファイナリー

[教員] 高橋 憲司 教授, 和田 直樹 助教

最近の研究成果を教えてください!

バイオマスの構成成分であるセルロースを熱可塑性樹脂へ変換し、炭素繊維と組み合わせることで、植物由来の炭素繊維強化プラスチックの開発に成功しました。環境に優しいだけでなく、高強度で軽量な特性を生かし、自動車や飛行機、住宅などの構造材としての利用が期待されます。

学生に聞きました! この研究室の魅力は?

欧米をはじめ、海外からの外国人留学生や博士研究員が多く所属しており、国際色が非常に豊かなことです。研究室内の研究発表や質疑応答は全て英語で行われます。また、セルロース分野の先端的な研究を行う企業などとの共同研究も多く、最先端の研究に携わることができます。



植物由来の炭素繊維強化プラスチック(下)



強度試験についてアドバイスする高橋教授

もっと知りたい! 金沢大学が育む

アントレプレナーシップ

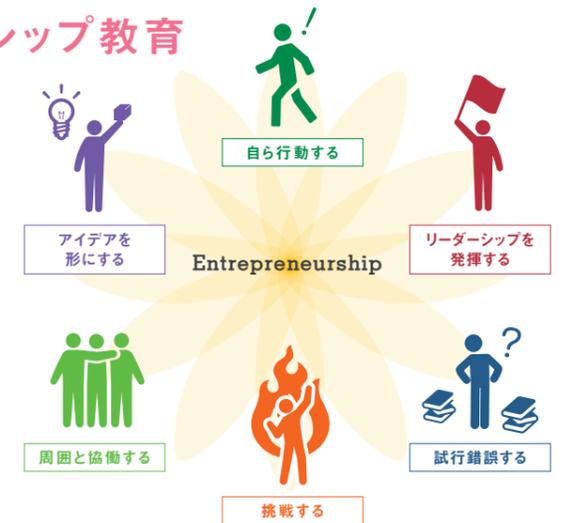
先端技術の普及に伴う大変革期には、社会のニーズや変化を感じ取り、課題解決に向けて主体的に行動する力が求められます。金沢大学は社会共創により、学生のアントレプレナーシップを育みます。

金沢大学版 アントレプレナーシップ教育

大学時代は、たとえ失敗しても成長への糧として経験を積むことができる貴重な期間。本学は、学生一人一人が未来の社会を創る主体として、アントレプレナーシップを身近に感じ、体得してほしいと考え、地域や社会とのつながりを生かしたさまざまな取り組みを展開しています。

アントレプレナーシップとは?

新たなアイデアや価値を生み出す高い創造意欲、課題やリスクに果敢に挑戦する姿勢や能力を指します。起業を志す場合だけでなく、あらゆる職業において求められる素養です。



STEP 1 授業でマインド醸成!

今年度新たに開講した共通教育科目(自由履修科目)「アントレプレナーシップI 2040年の仕事論」は、さまざまな業界で活躍するアントレプレナーを迎えて行われるオムニバス形式の講義。自ら考え、自ら動き、試行錯誤を繰り返すからこそ得られる事業創造の考え方や、地域の可能性、仕事に懸ける情熱などを伝える熱い講義が展開されます。自分なりの働き方や価値観、仕事への向き合い方を見つけるヒントが得られます。



STEP 2 イベントで体感!

ビジネスアイデアを創造する「アイディアソン」や先端技術を活用したサービスなどの開発に挑戦する「ハッカソン」をはじめ、自治体や地元企業と連携し、地方創生をテーマにさまざまな共創型イベントを開催しています。参加学生は、課題発見から成果発表までの一連の流れを、限られた時間内にチームで協働して実践。知恵を絞り、無我夢中で取り組むことで、アイデアを形にするスキルを培います。



STEP 3 起業体験を実践! 次代のアントレプレナー

自分の個性を生かして 幸せを届けたい

香水 大亮 さん

理工学域電子情報通信学類2年 起業塾「いしかわ未来アカデミー」第3期受講生

大学生活では自分にしかできないことをやり遂げたいと考え、事業立ち上げの実践を通じて起業マインドを体得する起業塾「いしかわ未来アカデミー」を受講しました。3度の起業体験はどれも実を結ばず、今後の事業プランに悩んだ時に糸口になったのは、「好きなことや特技を生かしてお客さまに喜んでもらう」という塾でのアドバイスでした。そこで、特技の美術を生かし、お客さまの車を水彩画で描く事業プランを考案。大切な愛車の特徴を引き出して優しいタッチで描くことで、思い出と共にいつまでも手元に置ける形として提供できると着想しました。実際に作品を手にとってもらい、喜んでもらった時の気持ちは特別なものでした。これからも特技を磨き続け、「人を幸せにするプロ」を目指します。

※本学が参加するいしかわ学生定着推進協議会と株式会社ウィルフが協働で実施する起業塾。



金沢大学広報誌「Acanthus」No.44 アンケートにご協力ください



「Acanthus」に関する皆さまのご意見・ご感想を同封はがきまたはQRコードのWebサイトでお寄せください。頂いたご意見は今後の誌面作りの参考にさせていただきます。なお、アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で5名さまに、金沢大学オリジナルクリアファイル・メモ帳・あぶらとり紙をセットでプレゼントいたします。

※プレゼント当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

【応募締切】令和元年10月末日

